

一般会計・特別会計で

# 予算の33.0%を支出済み

平成19年度

## 市の財政公表

市では、市民の皆さんにより一層、市政に対する理解と関心を深めていただくため、定期的に市の財政状況を公表しています。今回は、平成19年4月1日から9月30日までの半年間の予算執行および基金、地方債の状況をお知らせします。

### 予算の補正などの状況 旧清掃センター解体、 災害復旧など

平成19年度上半期の予算の状況を表1にまとめました。上半期では一般会計は12億3,938万円の増額、特別会計は3億1,677万円の増額を行いました。総額では一般会計が290億2,938万円、特別会計は合計で194億3,937万円、企業会計は58億4,794万円となりました。

なったためです。また図書館基金積立金を210万円増額しました。公共下水道事業特別会計では浄化センターのアスベスト対策に係る工事に6,985万円の増額補正をしました。

9月には7月13日から15日にかけての台風4号および豪雨に係る農林水産施設災害復旧費に7,285万円、公共土木災害復旧費に7,370万円の増額補正をしたほか、地域介護・福祉空間整備等事業補助金3,000万円、旧清掃センター2カ所の解体事業に1億8,500万円、企業等立地促進奨励金5,000万円、給食センター統合経費に1,834万円を増額しました。また特別会計では介護保険特別会計の事業勘定で平成18年度の精算に係る返還金を1億0,953万円増額し、簡易水道事業特別



武並保育園建設事業（武並町）

会計では明智簡易水道建設事業に6074万円増額補正をしました。（表1参照）

### 予算の執行状況

一般会計は  
44・7%が収入済み

一般会計では、収入率は44・7%、支出率は30・0%となっています。

特別会計合計では、収入率は33・1%、支出率は37・4%となっています。

一般会計・特別会計とも、収入では国、県支出金や市債は事業が完了後に収入となるため、収入率は低くなっています。支出については建設事業の工事費や委託料は事業が完了してから支出となりますので支出率は収入率と同様に低くなっています。

企業会計においては、水道事業会計の収益的支出が23・9%と資本的支出が14・2%となつていますが、固定資産の減価償却費や建設事業費の支出が下半期となっているために低くなっています。病院事業会計では収益的支出が43・0%、資本的支出が23・7%となつて

表2 予算の執行状況（9月30日現在） 企業会計予算は、収益的収支、資本的収支とも支出予算を掲載。率もこれに対する割合

内 訳	現計予算額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
一般会計	290億2,938万円	129億6,998万円	44.7%	87億1,677万円	30.0%
特別会計	194億3,937万円	64億2,696万円	33.1%	72億7,409万円	37.4%
国民健康保険特別会計（事業勘定）	51億0,660万円	18億0,494万円	35.3%	19億8,389万円	38.8%
国民健康保険特別会計（施設勘定）	6億8,790万円	1億7,920万円	26.1%	2億7,784万円	40.4%
老人保健医療特別会計	58億4,550万円	22億5,681万円	38.6%	23億8,527万円	40.8%
介護保険特別会計	39億2,898万円	17億0,786万円	43.5%	15億3,801万円	39.1%
公共下水道事業特別会計	18億8,235万円	2億7,951万円	14.8%	5億7,219万円	30.4%
簡易水道事業特別会計	16億6,134万円	1億6,181万円	9.7%	3億9,984万円	24.1%
農業集落排水事業特別会計	2億6,480万円	1,749万円	6.6%	9,739万円	36.8%
駐車場事業特別会計	6,030万円	1,838万円	30.5%	1,966万円	32.6%
上財産区特別会計	120万円	84万円	70.0%	0円	0.0%
遠山財産区特別会計	40万円	12万円	30.0%	0円	0.0%
企業会計	58億4,794万円	19億7,360万円	33.8%	21億6,968万円	37.1%
病院事業会計	収益的収支 37億4,840万円 資本的収支 1億6,520万円	11億6,839万円 0円	31.2% 0%	16億1,291万円 3,921万円	43.0% 23.7%
水道事業会計	収益的収支 8億9,340万円 資本的収支 5億6,874万円	4億2,386万円 1億7,123万円	47.2% 26.6%	2億1,331万円 8,055万円	23.9% 14.2%
介護老人保健施設事業会計	収益的収支 4億4,010万円 資本的収支 3,210万円	2億1,012万円 0円	47.7% 0%	2億0,890万円 1,480万円	47.5% 46.1%

表1 補正等の状況（平成19年9月30日現在）

内 訳	当初予算額	補正額等	合計
一般会計	277億9,000万円	12億3,938万円	290億2,938万円
特別会計	191億2,260万円	3億1,677万円	194億3,937万円
国民健康保険特別会計（事業勘定）	51億0,660万円	0円	51億0,660万円
国民健康保険特別会計（施設勘定）	6億8,790万円	0円	6億8,790万円
老人保健医療特別会計	57億8,140万円	6,410万円	58億4,550万円
介護保険特別会計	38億1,680万円	1億1,218万円	39億2,898万円
公共下水道事業特別会計	18億1,250万円	6,985万円	18億8,235万円
簡易水道事業特別会計	15億9,070万円	7,064万円	16億6,134万円
農業集落排水事業特別会計	2億6,480万円	0円	2億6,480万円
駐車場事業特別会計	6,030万円	0円	6,030万円
上財産区特別会計	120万円	0円	120万円
遠山財産区特別会計	40万円	0円	40万円
企業会計	58億2,730万円	2,064万円	58億4,794万円
病院事業会計	収益的支出 37億4,840万円 資本的支出 1億6,520万円	0円 0円	37億4,840万円 1億6,520万円
水道事業会計	収益的支出 8億9,340万円 資本的支出 5億4,810万円	0円 2,064万円	8億9,340万円 5億6,874万円
介護老人保健施設事業会計	収益的支出 4億4,010万円 資本的支出 3,210万円	0円 0円	4億4,010万円 3,210万円

補正額等には平成18年度からの繰越明許費が含まれています



表4 一般会計の収入状況(9月30日現在)

科目	現計予算額	収入済額	収入率
市税	70億7,465万円	44億2,702万円	62.6%
地方譲与税	4億2,040万円	1億2,650万円	30.1%
利子割交付金	3,190万円	1,141万円	35.8%
配当割交付金	1,730万円	1,421万円	82.1%
株式等譲渡所得割交付金	2,750万円	0円	0.0%
地方消費税交付金	5億4,500万円	3億2,028万円	58.8%
ゴルフ場利用税交付金	1億3,900万円	5,763万円	41.5%
自動車取得税交付金	2億5,960万円	6,437万円	24.8%
地方特例交付金	6,260万円	4,305万円	68.8%
地方交付税	81億0,000万円	54億6,398万円	67.5%
交通安全対策特別交付金	781万円	0円	0.0%
分担金・負担金	3億6,480万円	1億2,467万円	34.2%
使用料・手数料	5億2,855万円	2億0,340万円	38.5%
国庫支出金	13億7,434万円	1億3,873万円	10.1%
県支出金	21億0,007万円	2億1,309万円	10.1%
財産収入	1億3,416万円	5,365万円	40.0%
寄附金	426万円	485万円	113.8%
繰入金	19億3,231万円	209万円	0.1%
繰越金	8億2,771万円	14億5,587万円	175.9%
諸収入	5億9,032万円	2億4,518万円	41.5%
市債	44億8,710万円	0円	0.0%
合計	290億2,938万円	129億6,998万円	44.7%

表5 一般会計の支出状況(9月30日現在)

科目	現計予算額	支出済額	支出率
議会費	2億5,340万円	1億2,148万円	47.9%
総務費	49億1,716万円	14億6,845万円	29.9%
民生費	57億3,379万円	17億3,709万円	30.3%
衛生費	33億7,953万円	8億3,739万円	24.8%
労働費	5,400万円	4,736万円	87.7%
農林水産業費	16億3,491万円	3億9,175万円	24.0%
商工費	5億0,584万円	2億0,455万円	40.4%
土木費	30億5,903万円	6億2,110万円	20.3%
消防費	12億1,254万円	4億0,930万円	33.8%
教育費	35億8,430万円	11億4,540万円	32.0%
災害復旧費	3億4,898万円	6,467万円	18.5%
公債費	43億1,590万円	16億6,823万円	38.7%
予備費	3,000万円	0円	0.0%
合計	290億2,938万円	87億1,677万円	30.0%



解体される旧恵那清掃センター(長島町地内)



解体される旧恵南清掃センター(明智町地内)

表3 市債と基金の状況(9月30日現在)

区分	市債残高
一般会計	360億1,391万円
特別会計	196億3,352万円
国民健康保険(施設勘定)	3億0,159万円
介護保険(サービス事業勘定)	3億4,645万円
簡易水道事業	65億8,520万円
農業集落配水事業	24億6,107万円
駐車場整備事業	2億8,133万円
下水道事業	96億5,788万円
企業会計	44億1,536万円
水道事業	19億9,051万円
病院事業	16億4,383万円
老人保健施設	7億8,102万円
市債総計	600億6,279万円
区分	積立高
積み立てる基金	95億6,500万円
<一般会計に属する基金>	79億5,273万円
財政調整基金	28億8,973万円
減債基金	2億1,815万円
公共施設整備基金	7億4,963万円
市民のまちづくり基金	4億5,804万円
地域福祉基金	9億4,762万円
その他の基金	26億8,956万円
<特別会計に属する基金>	16億1,227万円
国民健康保険給付基金	8億0,165万円
その他の基金	8億1,062万円
運用する基金	11億4,909万円
土地開発基金	9億5,811万円
奨学資金貸与基金	1億5,204万円
家畜貸与基金	2,288万円
高額療養費貸与基金	1,606万円
企業会計の基金	3億7,097万円
水道事業	2億6,567万円
病院事業	430万円
老人保健施設	1億0,100万円
基金総計	110億8,506万円

一般会計において、市全体の歳入・歳出の状況と同様、収入率・支出率とも例年通りとなっております。(表4・5参照)  
 問い合わせ 財務課 26 21 1  
 財政係 26 21 1  
 1(内線352)

表3 市債と基金の状況(9月30日現在)  
 市債の状況を表3にまとめました。9月30日現在の借入残高  
**市民一人当たり107万3千円の市債残高**  
 (表2参照)  
 市債と基金

一般会計、特別会計、企業会計まで合わせて約600億6279万円、市民一人当たりでは107万2799円となっております。(この借金の返済のうち、おおよそ半分は国が交付税として手当てをする約束となっております。実際の市の負担は半分となります。)  
 一方、9月末で基金は、約28億8973万円の財政調整基金、2億1815万円の減債基金のほか、7億4963万円の公共施設整備基金、4億5804万円の市民のまちづくり基金、9億4762万円の地域福祉基金など一般会計分の積み立

る基金で79億5273万円となりました。  
 このほか運用する基金として、公共事業用地の先行取得を行う土地開発基金や奨学資金を貸し付ける奨学資金貸与基金があり、土地代金や貸付金を含め、運用基金総額は1億4909万円となりました。  
 特別会計、企業会計まで含めた基金総額は、110億8506万円と市民一人当たり約107万993円となります。(表3参照)

市税収入は、予算額に対して62.6%と順調に納入されています。株式譲渡所得割交付金や国庫支出金、県支出金、市債などは、年度末に納入されるため、非常に低い収入率となっておりますが、ほぼ予算額どおり納入される見込みです。  
 歳出については、借金の返済(公債費)や給料など毎月決まっています。建設事業などを多く持っている総務費、衛生費、農林水産業費、土木費や9月補正予算で計上した災害復旧費の支出は低くなっています。民生費は国民健康保険や老人保健医

市民一人当たりの額は、9月30日現在の住民基本台帳の人口55,987人(外国人を除く)で計算しています